

新たな価値を創造する データサイエンティストを育成。

ビジネスとデータサイエンスを結びつけ、イノベーションを創造する人材の育成をめざし、実践志向のデータサイエンス教育を展開します。

本学部では、ビジネスとデータサイエンスの両者を体系的に学び、実際の企業などの「生きたデータ」を用いた実践的なスキルと考動力(自ら考え、行動する力)を養成します。新時代において、混沌を突破し、リードできる人材を育成します。

学びの特色

▶ 文理の枠にとらわれないきめ細やかな教育

少人数の手厚い初年次教育(ゼミなど)でビジネスとデータサイエンス双方の基礎知識を習得

▶ 専門性を深める高度な教育環境

実務家を含めた国内屈指の経験豊かな教員陣による実践志向の専門教育

▶ 実社会とつながったリアルな学び

企業との連携による実データを活用した実践的な学修や産学連携プログラムへの参画

▶ 主体的な学びを促すアクティブラーニング科目

ビジネスとデータサイエンスの融合による課題発見・解決能力を身に付ける実践的学修



アクティブラーニング

企業と連携してチームで課題解決

身につけた知識や
スキルをもとに
実践にチャレンジ

理論と実践の循環

実践で不足を
感じた知識や
スキルを授業で学修

ビジネス からのアプローチ

学べる内容の一例

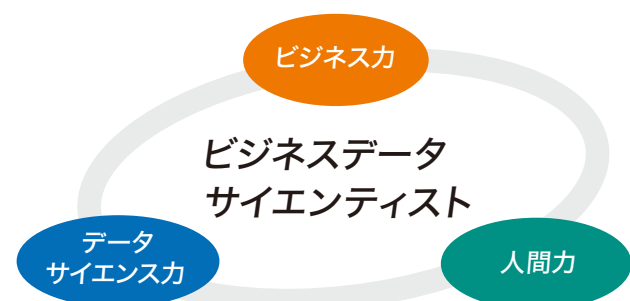
- マーケティング
- 起業家精神
- 会計
- マネジメント等

データサイエンス からのアプローチ

学べる内容の一例

- AI
- ビッグデータ
- 統計
- プログラミング等

ビジネスとデータサイエンスの力で
イノベーションを創造するリーダーへ。



Message メッセージ

データから課題を読み解き 社会で即戦力となる人材育成を

学部名に“ビジネス”という言葉がつくように、社会の課題に対してデータを活用し、解決できる力を身に付け、即戦力となる人材を育てたいと考えています。社会で活躍するにはデータを解析するだけでなく、他者と協働し、答えを導き出す力も欠かせません。これらを育むため、1年次からアクティブラーニングを中心としたカリキュラムを用意しています。実践的なカリキュラムを通して、社会をけん引するような人材を生みだしていきます。



鷲尾 隆
TAKASHI WASHIO
ビジネスデータサイエンス
学部長(就任予定)

学びの深まり方の一例



▶ ビジネス現場の最前線で活躍する「ビジネスデータサイエンティスト」へ

現代の企業経営はデータに基づいた意思決定が当然のように行われているため、経営企画やマーケティング戦略などの部署での活躍が期待されます。また、データ活用のスキルを生かして起業を行うケースも増えています。

【企業アンケートより】
ビジネスデータサイエンス学部の
卒業生を採用したいと思いますか(回答企業1,146社)

「思う」
88.6%
(1,015社)

想定される職種

マーケティングアナリスト、データサイエンティスト、政策・戦略立案者、アントレプレナー等

想定される業界

IT産業、メディア、製造業、金融業、シンクタンク、コンサルティング会社、ベンチャー企業、教育・研究者等

あらゆる業界で活用される 「データサイエンス」

社会のさまざまな産業ですでに活用されているデータサイエンス。業務の生産性を上げ、新たなビジネスを生み出すことが期待されています。しかし、経済産業省は、「日本では2030年にIT人材が79万人不足する」という予測を発表していて、データサイエンスの知識とスキルを備えた人材のニーズはますます高まるでしょう。

楽しくデータサイエンスを知ることができるサイトをCheck!



物流業



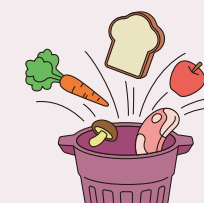
効率的な配達ルートを見つけ出す!

エンターテインメント業



効率のいい告知でイベントの参加者数アップ!

飲食業



作りすぎによる食品廃棄ロスを削減!